



平成29年11月8日

各位

会社名 タカセ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 大宮司 典夫
(JASDAQ・コード9087)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長
笹岡 幹男
(TEL. 03-3571-9497)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年5月12日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(単位：百万円)

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	3,800	△30	△20	△40	△40.23
今回修正予想(B)	4,077	△9	△8	△23	△23.44
増減額(B-A)	277	21	12	17	—
増減率(%)	7.3	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績(平成29年3月期第2四半期)	4,297	△80	△81	△96	△97.50

※当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合がおこなわれたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度末に実施した構造改善施策および不採算取引の見直しによる効果が想定どおりに見られました。また、東京都大田区平和島所在の平和島新倉庫が6月より賃貸を開始したことによる効果や上海現地法人における新規顧客獲得による効果が業績に寄与しました。

以上から、営業収益は、期初予想値に対して、2億77百万円増(7.3%)の40億77百万円となる見込みであります。

営業損益は期初予想値に対して21百万円良化し9百万円の営業損失となる見込みであり、経常損益は期初予想値に対して12百万円良化し8百万円の経常損失となる見込みであります。さらに、親会社株主に帰属する四半期純損益は、期初予想値に対して17百万円良化し23百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となる見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点での修正はありません。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上